

うのすまい保育園 R4・6・1発行

6月ほげんだより

担当 かわさきけいこ

天気や1日の気温の変化が激しい季節になりました。汗をかいたら拭き、濡れた服は着替えられるようタオルや着替えの準備をお願いします。

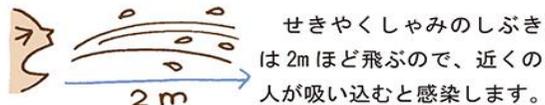
また、釜石・大槌地区でも新型コロナウイルスの感染者が報告されています。体調管理に気をつけながら今月も元気に過ごしましょう。

ウイルス、どうやってうつる？

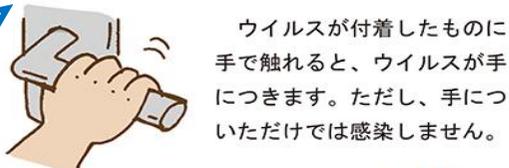
コロナウイルスは、感染している人のせきやくしゃみ、会話の際のしぶき(飛沫)と共に飛び散ります。また、唾液や鼻水の中にも多く存在しています。ウイルスを含むしぶきを吸い込んだり、ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ったりすることで感染します。



1 ウイルスを含むしぶきを吸い込む



2 ウイルスがついた手で目や鼻、口を触る



手を洗ってウイルス

ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクは下がります。

手を洗うときは、せっけんをしっかり泡立てて、指の間、指先までしっかり洗い、流水でよく流しましょう。

ウイルスのついた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に侵入します。

感染!

6月4日～ 歯と口の健康週間!

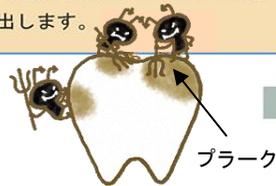
虫歯はこうしてできる!

1 糖分をもとにプラークができる

口の中の糖分をエサに、虫歯菌が繁殖し、ネバネバとしたプラーク(歯垢)をつくります。プラーク1mgには、なんと虫歯菌が10億個以上も!

2 虫歯菌が酸を出す

プラークの中で虫歯菌が糖分を取り込み、酸性の物質を出します。



3 酸が歯を溶かす

虫歯菌の出す酸が、歯の表面を溶かし、やがて歯に穴が開いて虫歯になります。表面だけが溶けた「初期虫歯」なら、歯みがきをしっかりとすることで、本格的な虫歯に進むのを防げます。

ものを食べるのに欠かせない「歯」。乳歯が虫歯で抜けてしまうと、食べることに支障が出るため、体の成長にも影響します。小さいころから歯みがきの習慣をつけて、歯を守りましょう。

また、歯医者さんは歯を守る強い味方です。歯がきちんとみがけているか、虫歯はないかなど、歯のトラブルを予防するために、お子さんといっしょに**家族で定期的に歯科健診**を受けるのもおすすめです。

歯科健診

6月2日(木)

12:30～



【お願い】歯ブラシは持ち手の細いものを持たせて下さい

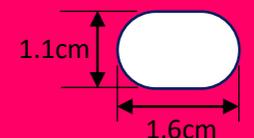
- ・保育園で使う歯ブラシは殺菌庫で殺菌・乾燥して保管しています。
- ・歯ブラシの持ち手が太いと殺菌庫のホルダーに立てることができず庫内に入れることができません。
- ・ひまわり組、さくら組のお子さんは歯ブラシの確認をお願いします。



○殺菌庫に入る歯ブラシ



×殺菌庫に入らない歯ブラシ



これが実際のホルダーのサイズです。この穴に入る持ち手の歯ブラシをお願いします。